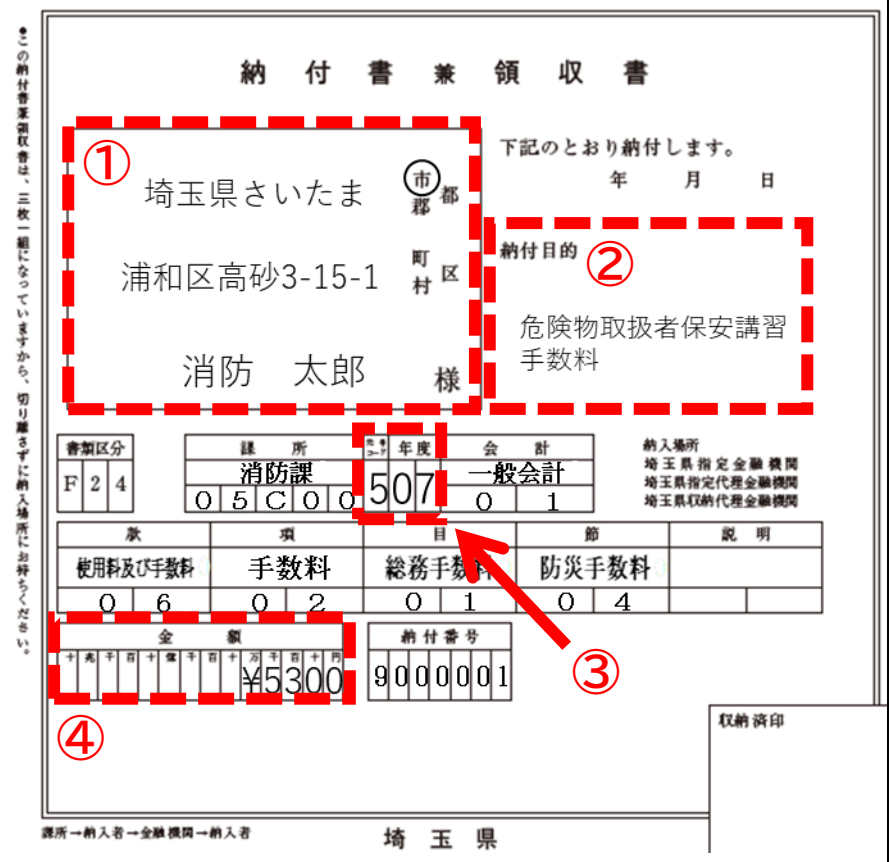
【参考】　　表面

危険物取扱者保安講習

「納付書兼領収書」 使用方法（令和7年4月）

1　記入例を参考に、必要事項（下記の①②③④）を記入してください。
- ✓　3枚一組になっています。切り離さずにご使用ください。

納付書兼領収書　記入例



① 納入者住所・氏名
納入者の住所と氏名（事業所の場合は事業所の住所と名称）をご記入ください。

② 納付目的
「危険物取扱者保安講習手数料」とご記入ください。領収書として使用するためには記入が必要です。

※納入者が事業所の場合や、複数人分を納付する場合は、手数料名を記入した下側に、受講者の氏名や人数をにご記入ください。
例）受講者　〇〇××分
　　〇〇××、△△□□分
　　〇〇××等20名分

③ 元号コード、年度
元号コード：令和『5』
年度：令和7年度『07』
（令和7年4月～8年3月）

④ 金額　≪この欄は修正できません≫
右詰めで、一人分の場合『￥5300』とご記入ください。複数人分をまとめて納付する場合は、5300円×人数分の金額をご記入ください。 例）3人分：5300×3＝15900 →『￥15900』

2　金融機関の窓口でお支払いください。【注意】郵便局、コンビニお支払い不可
- ✓　お支払い後、金融機関の収納印が押された納付書兼領収書1部が申請者のお手元に戻されます。

3　**重要**「納付書兼領収書」申請者控えを申請書の裏面に貼り申請してください。
- ✓　複数人分をまとめて申請する際は、「納付書兼領収書」「申請書」の順に、外れないようホチキス等でまとめてください（外れやすいゼムクリップ等はご遠慮ください）。
- ✓　お手元に領収書原本を残したい方は、写し（コピーしたもの）を貼付してください。

提出先　各防火安全協会へ直接申請

4　納付書兼領収書に関する問合せ先：埼玉県消防課予防担当（048-830-8161）

お支払いできる金融機関（埼玉県内の店舗）※

埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、埼玉県信用農業協同組合連合会、
みずほ銀行、三菱 UFJ 銀行、三井住友銀行、りそな銀行、山形銀行、群馬銀行、
足利銀行、常陽銀行、千葉銀行、きらぼし銀行、第四北越銀行、
SBI 新生銀行、きらやか銀行、福島銀行、東和銀行、栃木銀行、東日本銀行、
東京スター銀行、大光銀行、三井住友信託銀行、しののめ信用金庫、川口信用金庫、
青木信用金庫、飯能信用金庫、朝日信用金庫、東京東信用金庫、亀有信用金庫、
足立成和信用金庫、西京信用金庫、西武信用金庫、東京信用金庫、城北信用金庫、
瀧野川信用金庫、巣鴨信用金庫、青梅信用金庫、あすか信用組合、
埼玉県医師信用組合、熊谷商工信用組合、埼玉信用組合、ハナ信用組合、
さいたま農業協同組合、あさか野農業協同組合、いるま野農業協同組合、
埼玉中央農業協同組合、ちちぶ農業協同組合、埼玉ひびきの農業協同組合、
くまがや農業協同組合、埼玉岡部農業協同組合、花園農業協同組合、
ほくさい農業協同組合、越谷市農業協同組合、南彩農業協同組合、
埼玉みずほ農業協同組合、さいかつ農業協同組合、ふかや農業協同組合、
中央労働金庫

※令和7年4月1日時点。一部の金融機関は、県外店舗でもお支払いいただけます。
詳細は、下記のホームページ（埼玉県公金を納付できる金融機関について）にて
ご確認ください。

https://www.pref.saitama.lg.jp/a1201/kinyukikan.html